

一般社団法人日本金属プレス工業協会における
自主行動計画フォローアップ調査について

令和6年2月15日

一社) 日本金属プレス工業協会

1. 令和5年度フォローアップ調査結果（概要）

- ・ 調査期間：令和5年10月13日～12月12日
- ・ 調査企業：日本金属プレス工業協会の会員企業 276社を対象
- ・ 回答企業：60社（前年度94社）
- ・ 回答率：21.73%（前年度33.69%）

1. 令和5年度フォローアップ調査結果（概要）

- ・ 当調査が行われる前にも同様の調査が行われ対応に疲弊し未対応を乞う会員が散見された。また複数の工業会に所属して同様の調査に対応している会員も存在した。調査精度向上のために可能な限り中小企業に負担を強いる調査は合理的に行って頂きたいと思う。と同時に意見できる場を提供頂いている事の理解推進を行いたい。

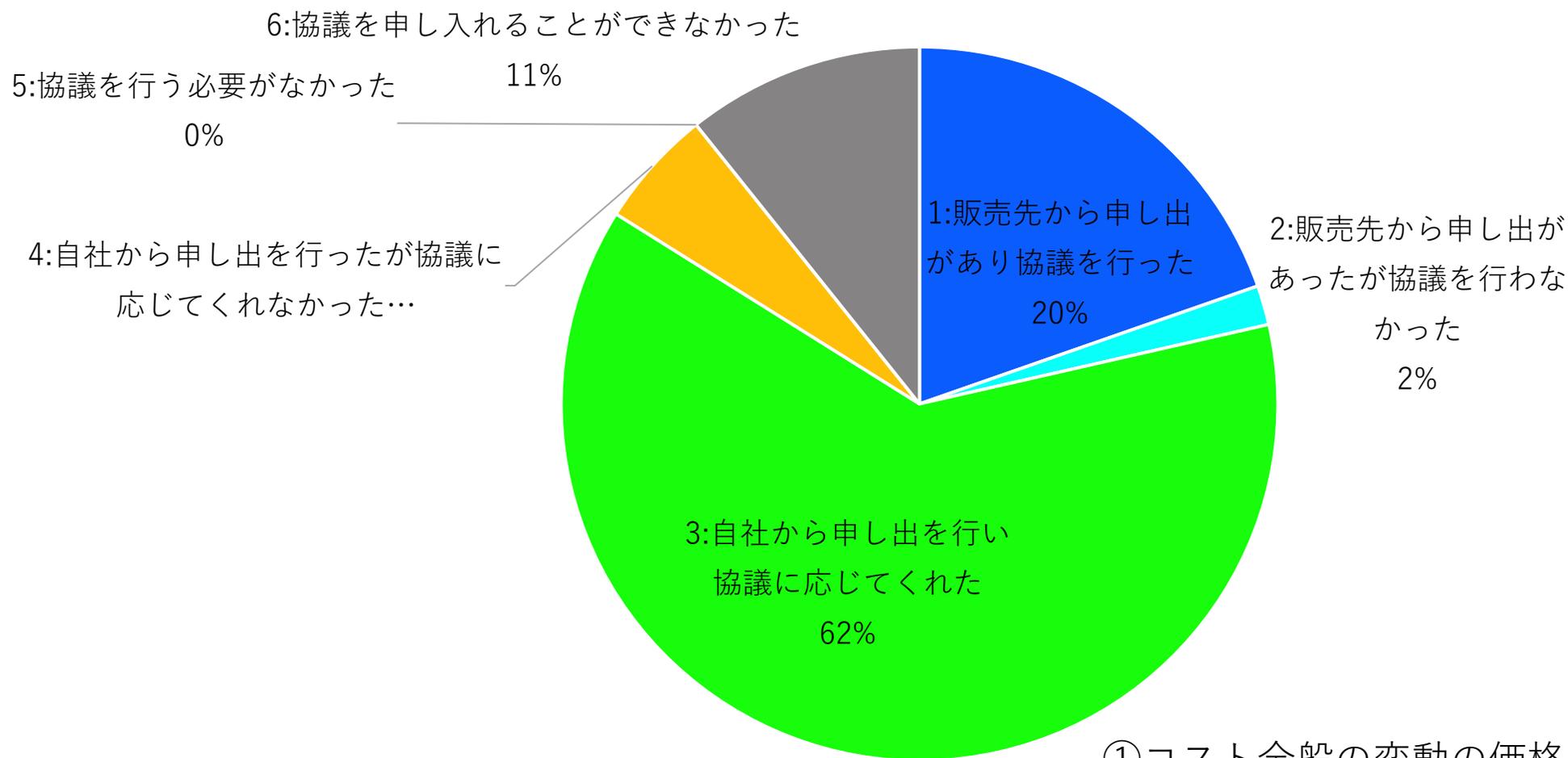
- ・ 型管理の適正化に浸透により、積極的に行動されている会員からは好事例が報告されている。半面工数不足、対象金型が多すぎて交渉も滞っている会員も少なくない。

- ・ 注視するべきは、受発注の中間層に位置する企業に対して「得意先が疲弊している」と発する会員があり、発注先から要求され受注先へ要求するが思うように好転しない実情が垣間見られた。

2.令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組①：合理的な価格決定

8割が反映されたと回答行動結果が現れる形となった。



①コスト全般の変動の価格反映状況
(②～④に加え、物流費、減価償却費なども含む)

2.令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組①：合理的な価格決定

〔課題を踏まえた今後のアクション〕

- ・ 自社から申し出を行ったが応じてくれなかったと回答している5%の回答者から寄せられた以下の内容に対策を模索する。
- ・ 労務費の上昇分は自助努力で対応するものと思われるため
- ・ 一度契約した単価についてコストダウンはするがコストアップをするという商慣習が自動車業界においてない為
- ・ コスト増の根拠が正確に示せないかった部分があるため
- ・ コスト全般（消耗品や諸経費）の上昇は製品価格への影響度を定量的に示すことが困難なため

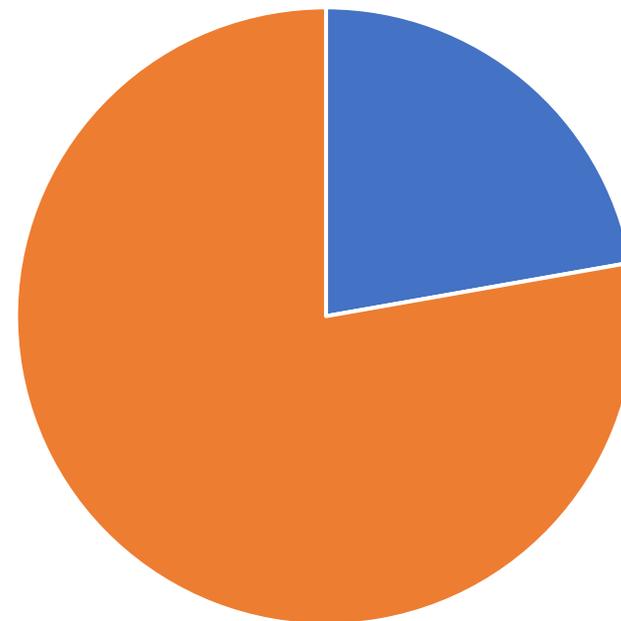
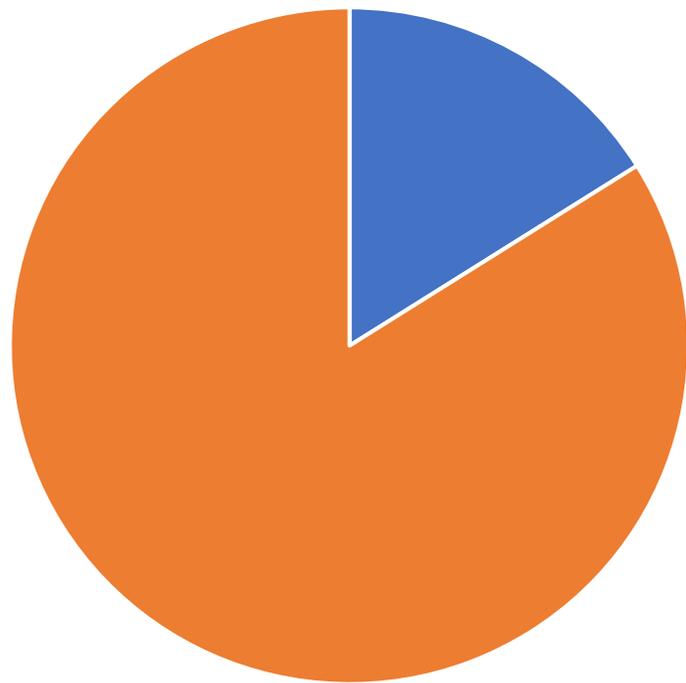
2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組②：原価低減要請、協賛等

〔設問と回答〕

設問：直近1年間で、販売先から不合理な原価低減要請を受けたことがありますかの問いに86%の回答者より受けていないと回答があった。

更に、原価低減を受けた16%の回答者のすべてが、納得、納得無に関わらず合意している。



■ 1: 受けたことがある ■ 2: 受けたことはない ■ 3: 要請に応じなかった

■ 1: 要請に納得したうえで合意した ■ 2: 要請に納得しないまま合意した

2.令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組②：原価低減要請、協賛等

〔課題を踏まえた今後のアクション〕

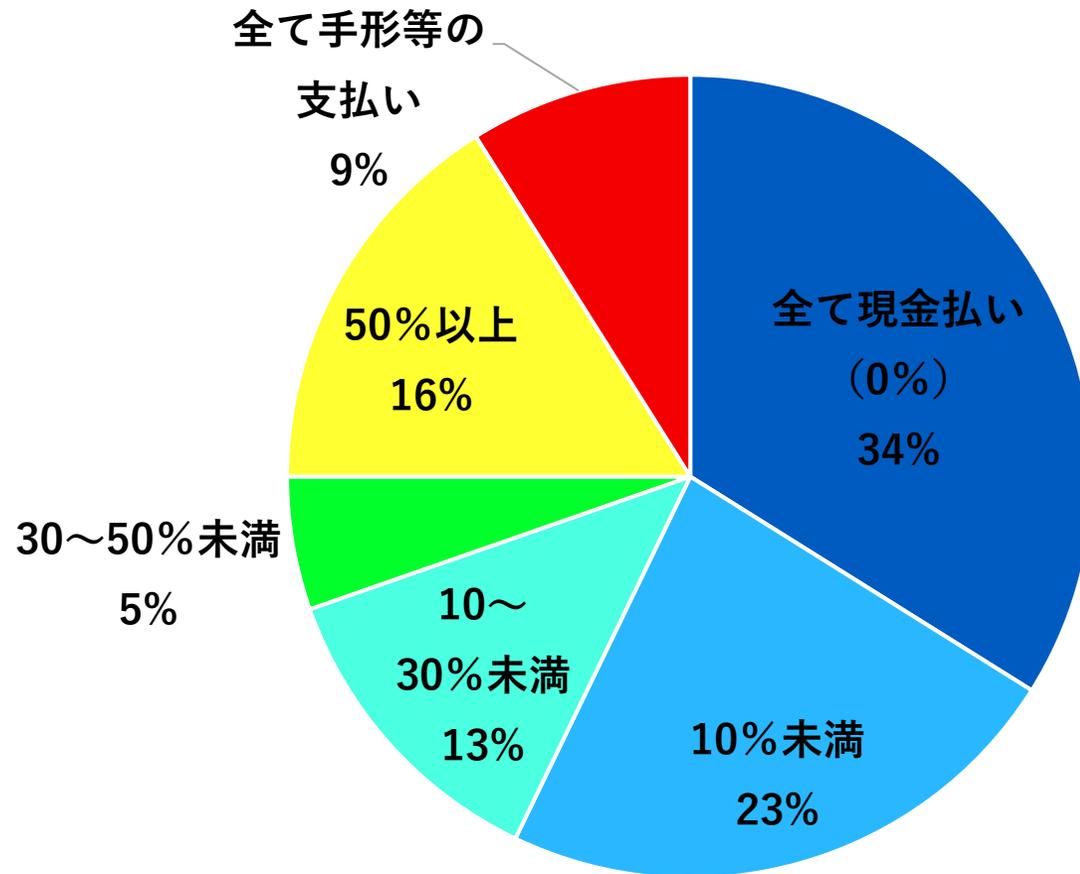
- ・ 今後原価低減要請で「不合理な」内容例示を積極的に公開する（キャンペーン）
 - ・ 合理的な原価低減と不合理な原価低減要請の例示
- ・ 親事業者への啓蒙資料作成を行政に依頼し、親事業者へ展開する。
- ・ 親事業者が集う団体へ傘下会員への啓蒙をご依頼する。
- ・

2.令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組③：支払い条件の改善

【設問と回答】

設問：下請代金を手形等で受け取っている場合、その割合はどれくらいですか
回答の66%が何らかの形で手形支払いを受けている。



2.令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組③：支払い条件の改善

〔課題を踏まえた今後のアクション〕

- ・手形利用廃止、サイト短縮に向けた取り組みに関しては、親事業者と交渉するシナリオを用意して配布する。
- ・令和4年2月に中小企業庁事業環境部殿より5,000社の親事業者に対して依頼したサイト短縮依頼の結果を調べ改善状況の会員周知し行動を促す。
- ・適正取引推進委員会を開催して、会員に対する啓蒙方法を議論頂き実行する。

2.令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組④：型取引の適正化

〔設問と回答〕

設問：直近1年間で、型管理における適正化や改善への取組で以下の回答を得た。

○良事例

- ・型に関しては不要又は生産量が極端に減った時点で仕入先より返却希望が出てくるため、都度返却に対応している。型の処分は弊社での実施となっている。
- ・得意先のルールに準じている
- ・ 随時、金型の引き上げを実施
- ・ 金型の引き取りを計画。早々実施予定
- ・ 量産終了後、両社間での協議の上、金型の保管は我社で保管を行っている。
- ・ 該当する案件が少なかった。過去に使用しない金型は随時引き上げ若しくは廃却を実施してきた。

○問題事例

- ・ 発注元企業への了解が得られないと実施出来ないため
- ・ 顧客から廃棄連絡が不十分
- ・ 発注先から要請はない。
- ・ 受注先企業への申し入れをするも、取引先からの理解や協力を取り付けられておらず、仕入先様への実施にいたらなかった。

2.令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組④：型取引の適正化

〔量産終了後の型の廃棄、保管費用の未払い、交渉拒否等の改善に向けた取組〕

- ・ 型の廃棄、保管費用に関する契約や取引条件の再検討をおこなう。
 - ・ 現在保管している金型に関して適切な管理体制を整える。
 - ・ 見積書、保管契約書などの再確認を行う。
- ・ 型資産保有先に対して、型取引の適正化の制度認知レベルを確認し、保管費用を支払ってもらうプロセスを協議、交渉する。

3.取引適正化に向けた今後の取組

〔今後のアクション〕

- ・ 適正取引推進委員会を開催して、結果の報告と啓蒙方法を議論頂く。
- ・ 3月18日第5回理事会で参加理事に向けて本結果の報告を行い、普及に関してご意見を頂く。
- ・ 5月16日第13回通常総会で、参加会員に対して本結果の報告を行い、同時に自主行動計画及び徹底プランの内容を周知する。
- ・ 4月と6月に主催する金属プレス加工技術展において、自主行動計画、徹底プランの普及を行う。